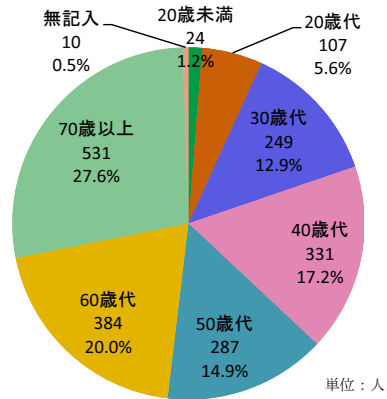


次期総合計画策定に関する市民意見について

1. 市政アンケートによる次期総合計画策定に関する意見（速報）について

○第46回 市政アンケート調査 (平成30年9月実施)

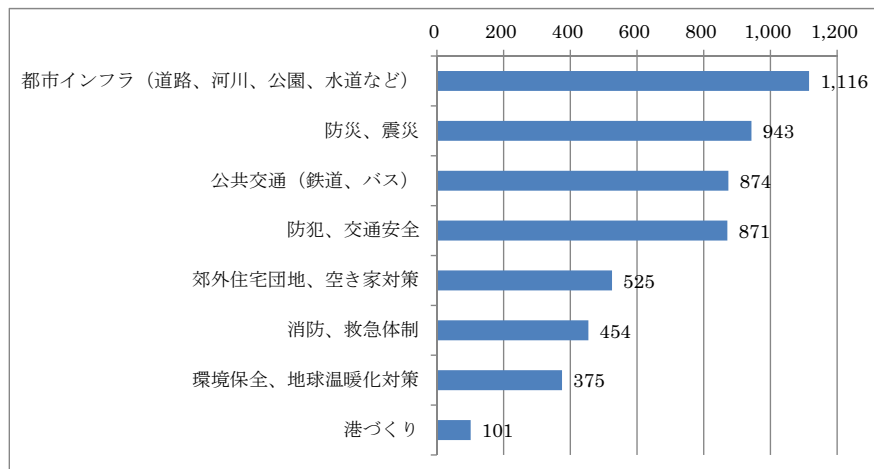
- ・アンケート調査数 5,000人
(市内在住の18歳以上の方から
無作為抽出)
- ・有効回答数 1,923人
- ・回答率 38.5%



○次期総合計画の策定について

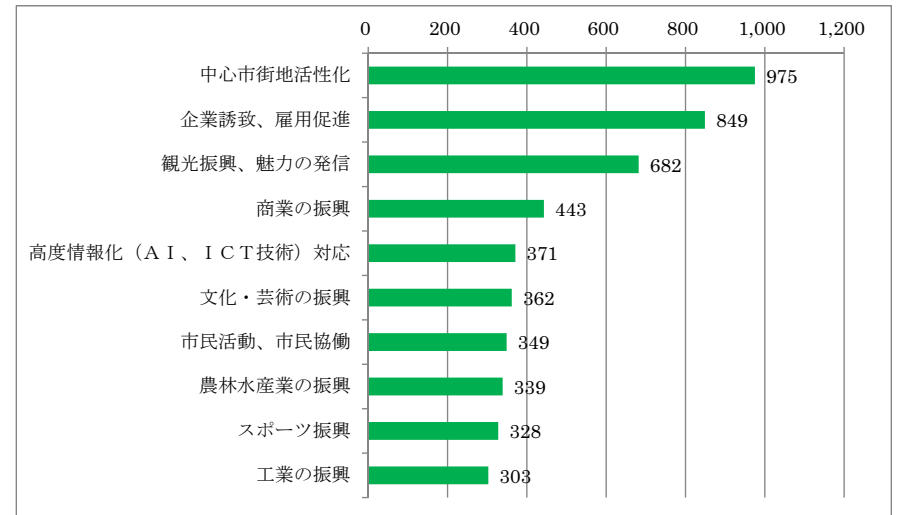
四日市市が住みやすいまちとなるため、各分野において、長期的な視野で将来に向けて、特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いませんか。
3つまで選んで番号に○をつけてください。

(1) まちづくり・環境・防災・防犯・港湾



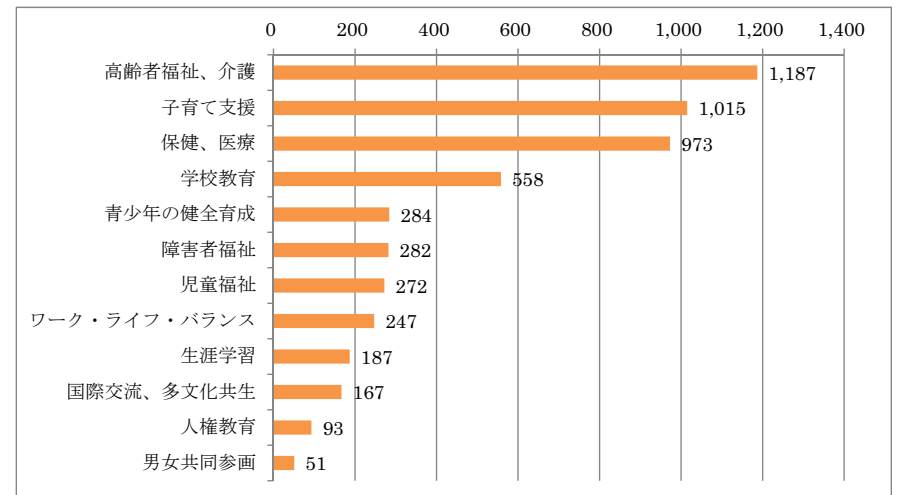
※無回答 50人

(2) 産業・観光・市民活動・文化・スポーツ



※無回答 83人

(3) 子育て・保健・福祉・人権・教育・国際交流



※無回答 58人

2. 四日市市総合計画キックオフシンポジウムの開催結果について

概要

- 日時：平成30年11月25日（日）13:30～16:10
- 会場：四日市市総合会館 8階 視聴覚室ほか
- プログラム
 - ・第1部：基調講演：「総幸福最大化への道 --- クオリティストック形成とスマートシュリンク」
林 良嗣氏（中部大学工学総合研究所教授、名古屋大学名誉教授）
 - 参加者数：140名
 - ・第2部：テーマ別分科会：82名
 - ①土地利用・環境
 - ②産業・市民活動
 - ③防災・交通・港湾
 - ④健康・医療・福祉・人権
 - ⑤教育・文化・スポーツ・生涯学習
- 報道機関：CTY



①土地利用・環境（参加者数 14名）	
(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【自然共生】 ・海、山、川といった自然とまちが近い</p> <p>【生活の利便性】 ・スーパーマーケットが多く、郊外でも生活の利便性が高い</p> <p>【環境】 ・公害の事実をしっかり受け止め、資料館開設など、将来を見据えたまちづくりを進めている</p> <p>【多様な活躍】 ・高齢者が活躍している</p> <p>【安心なまち】 ・安全、安心な街が多く、住みたいエリアが多様である</p> <p>【大都市圏へのアクセス】 ・鉄道が多く、交通アクセスが良い ・名古屋、大阪、京都といった大都市圏へのアクセスが良い</p>	<p>・大都市圏から近い利便性を活かし、他市から四日市へ来てもらうまちづくりをしてほしい。</p> <p>・四日市を持続していくために、中心市街地で東海地区No.1の中心市街地の形成にチャレンジしてほしい。</p> <p>・中心市街地から郊外に向けた放射線状道路の整備と高規格化道路の整備でもっとヒトが集まりやすくしてほしい。</p> <p>・歩道と車道との段差が多いため、バリアフリー化の推進を。</p> <p>・自然との共生に向け、田畑の農業法人化、有害鳥獣対策、里山づくりのための人材育成といった取り組みを促進してほしい。</p>

②産業・市民活動（参加者数 12名）	
(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【産業・コンビナート】 ・働く場が多い ・多様性・産業集積（偏りが無い） ・コンビナート企業が立地している ・かぶせ茶の生産</p> <p>【コンビナート・港】 ・客船の寄港による港が賑わってきている ・コンビナート夜景</p> <p>【中心市街地（現代版宿場町）】 ・歴史がある ・ホテル・商業施設が充実</p> <p>【立地・交通アクセス】 ・大阪にも名古屋にも近い好立地 ・主要幹線道路にもアクセスしやすい</p> <p>【人づきあい】 ・市民の絆がある ・人があたたかい</p>	<p>・産業集積、コンビナート、四日市港などに市民は誇りや愛着がある。</p> <p>・これらを含めて、行政と市民が双方向で四日市の情報や魅力をもっと共有、また相互に発信できるようになるべき</p> <p>・中心市街地には屋間の賑わいを取り戻す取り組みが必要</p> <p>・地区市民センターを拠点とした市民交流や情報発信をもっと活発に</p> <p>・組織内の連携だけでなく、組織・団体間の連携を活発化していくべき</p> <p>【その他】 ・現計画の総括をきっちりと（市民にもわかるようにするべき） ・市民の将来への漠然とした不安をどう解消していくかの方向性が市民にわかってもらえるかが大事 ・三重県最大の都市としての責任を果たすべき⇒名古屋から人口を獲得していけるように</p>

③防災・交通・港湾（参加者数 17名）	
(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【防災】 ・防災マップ、防災メールが充実している ・年長者を中心に自主防の活動が活発 ・消防署が整備され、救急車が早く来てくれるようになった</p> <p>【交通】 ・他都市より鉄道が充実しており利用しやすい ・あすなろう鉄道の存在も大きい ・高速ICへのアクセスが良く、他都市へ気軽に遊びに行ける ・都会からのアクセスが良い</p> <p>【港湾】 ・港のおかげでまちが発展している ・市街地に港に近いことが良い ・夜景も良いし、おいしい魚もたくさん釣れる</p> <p>【その他】 ・市役所職員の対応が良く、相談しやすい</p>	<p>・災害時に市民自ら判断し行動できるよう、あらゆる手段を用いて即時に情報発信して欲しい</p> <p>・災害時に行政を待たずに地域が動けるよう資機材の充実を</p> <p>・普段から若者・子育て世代・年配の方が一緒に防災について学べる場所がほしい</p> <p>・公共交通をもっと利用しやすいまちづくりを進めてほしい（例：高齢者向けシルバーパス）</p> <p>・交通状況や災害情報を市民がリアルタイムで状況判断できるよう、数値化して発信してほしい</p> <p>・横断歩道で車が停止するよう、交通マナー向上が必要</p> <p>・JR四日市駅の活性化、高架化して開かずの踏切の改善も</p> <p>・港に市民やクルーズ客が休憩できる場所がほしい</p> <p>・駅から港まで距離があり徒歩だと危険を感じるため、バスを通すなどアクセスを充実してほしい</p> <p>・思い切って港の機能を霞へ集中させてはどうか</p>

④健康・医療・福祉・人権（参加者数 19名）	
(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【健康】 ・健康経営有料法人認定企業、地域ボランティアや活動参加者が多く、企業も含め、市民の健康づくりの意識が高い ・助成も含め、健診内容が充実しており、広報よっかいちで高齢者への周知もされている</p> <p>【医療】 ・総合病院の数が多く、信頼できるかかりつけ医もいる ・全国的に見て、在宅医療が進んでいる</p> <p>【子育て・福祉】 ・学童保育所が全小学校区にある ・第3子保育料無料、未就学児医療費の窓口負担無料化 ・高齢者のサロンづくりが進んでいる</p>	<p>【医療】 ・総合病院と診療所の役割分担が進む中で、かかりつけ医と患者の信頼できる関係性が築いていけるとよい。</p> <p>・災害時対応のためにも、ヘルプマーク（耳マーク）の普及を進めていくべき</p> <p>【子育て・福祉】 ・車いすの人の2次避難所の確保 ・電動車いす等の福祉用具の規制を緩和すべき</p> <p>・障害者への医療費助成が弱い</p> <p>・学童保育所数は一定あるが、待機児童もいる。</p> <p>・地域で子育てしようという動きを応援すべき。</p> <p>・民生委員の高齢化が進んでいるが、若い人も参加しやすい環境づくりが必要</p> <p>・ユニバーサルデザインの考え方を計画に反映させ、ハード・ソフト両面でのまちづくりを進めるべき</p>

⑤教育・文化・スポーツ・生涯学習（参加者数 20名）	
(1) 四日市の良いところ	(2) 住みやすいまちづくりに向けて
<p>【教育・文化】 ・自然にも恵まれ、教育環境なども程々に良い ・県内では学校施設数も多く、先生と生徒の距離も近い</p> <p>・教育、文化活動等の大小様々なイベントがあり、子ども連れの家族も参加しやすい</p> <p>・健康寿命が長く、文化の継承にもつながりやすい</p> <p>【スポーツ】 ・新しいスポーツ施設の完成や学校開放の利用などもあり、スポーツに触れられる環境が身近にある</p> <p>【生涯学習】 ・地区市民センターでの活動や熟年大学、市民大学など、生涯学習の機会が多くある</p> <p>・大学連携の拠点が集積してきており、高等教育が盛んになる可能性を秘めている</p> <p>【その他】 ・駅の数が多い</p>	<p>・イベント情報などを一体化して発信することで、活動やイベントに参加しやすくなるとともに活動者の育成にもつながる</p> <p>・図書館等の文化施設、スポーツ施設、商業施設の充実について中途半端にならないようなまちづくりをして欲しい</p> <p>・中心市街地だけでなく、小学校の図書室開放などにより、各地域における図書機能の充実も必要</p> <p>・高齢者コミュニティの充実など、余生の過ごしやすいまちづくりを</p> <p>・ボール遊びができる公園や、子ども会の充実など、子どもが集まれる工夫が必要</p> <p>・ICT技術を活用して、見守りや教育などの充実につながる</p> <p>・交流が生まれやすい公共交通網の整備をして欲しい</p>